2015年9月14.日

**2016年度 第31回 ゼット杯争奪リトルリーグ関西連盟秋季大会実施要項（案）**

リトルリーグ関西連盟　競技・安全部

1．主催 日本リトルリーグ野球協会所属 リトルリーグ関西連盟

2．後援 サンケイスポーツ，産経新聞社

3．協賛 ゼット株式会社

4．協力 株式会社共同写真企画

5．出場登録 出場登録書類提出締切　：　9/27(日)　連盟事務局必着(厳守)

【提出書類】

＜連盟事務局へ郵送書類＞

　メンバー表(別紙2)、選手登録書コピー、役員･指導者登録書コピー、

　スポーツ保険加入書コピー、連合チーム登録申請書(別紙4)(連合チームの場合)

　　　　　　　　　　　　　(送付先)リトルリーグ関西連盟　事務局　三谷　義郎　宛て

　　　　　　　　　　　　　　　　　〒540-0021　大阪市中央区大手通1-2-1　　TEL：090-1950-8665

＜連盟事務局へメール書類＞

　パンフレット及び、サンケイスポーツ掲載用メンバー表(別紙3)

　　　　　　　　　　　　　(送付先)リトルリーグ関西連盟　事務局　e-mail：kansai\_ll@yahoo.co.jp

6．大会日程 組合せ抽選会及び、説明会

　10/4(日)　受付開始10:30～　抽選会11:00～　ゼット株式会社　本社

※説明会には『2015年度リトルリーグ基本資料』をご持参ください

　また、説明会には必ず指導者が参加すること

開会式 ：　10/11(日)　花園中央公園野球場　詳細は後日連絡します

大会日程 ：　10/11(日)、10/12(月・祝)、10/18(日)、10/25(日)、11/1(日)

：　(予備日)　10/17(土)、10/24(土)、10/31(土)、11/3(火・祝)

7．大会会場 花園中央公園野球場、大阪城硬式少年野球場　他

8．参加費 大会参加費 ：10,000円/チーム　(抽選会当日徴収する)

試合球代 ：10,000円/チーム　(抽選会当日徴収する)

なお、連合チームにおける大会参加費及び、試合球代の各リーグの内訳金額について、必ず事前連絡すること

　 　(連絡先)リトルリーグ関西連盟　財務部　楠見　昌人

　　　　　e-mail：masatokusumi@yahoo.co.jp

　　　　　締切：9/27(日)　　なお、連絡無き時は、連合チームで1枚の領収書とする

9．試合球 ・試合球はゼット製大会公認球とする

・各試合におけるホームラン交換球は本大会公認試合球に限る

・メジャーの部、マイナーの部それぞれのチームに1箱ずつ購入とする（抽選会当日配布予定）

10．大会方式 ・メジャーの部及び、マイナーの部の併設大会とし単純トーナメント戦を行う

・メジャーのみ3位決定戦を行う

・各部決勝戦終了後，表彰及び、閉会式を行う

・各部　優勝，準優勝，3位を表彰する

なお、メジャーの部の優勝，準優勝，3位のリーグは11/21、11/22開催の関西小学生硬式野球選手権大会への出場権が与える

また、NOMOカップ(1/16、1/17)への出場は上位チームから関西連盟が決定することとする

11．参加資格 ・2016年度リトルリーグトーナメント大会参加資格規定に適合したリーグで関西連盟選手登

　録済及び、その傘下のチーム、選手に限る

・選手年齢資格

　　メジャーの部 現小学6～4年生（平成15年4月2日～平成18年4月1日生）

　　マイナーの部 現小学4～2年生（平成17年4月2日～平成20年4月1日生）

・連合チーム及び、同リーグの複数チームの参加を認める

　ただし、連合チームで出場する場合は、別紙4の「連合チームの登録申請書」を提出のこと

　2015年度国際登録済みのニューリーグで参加する場合、申請書は不要とする

（連合チームは別紙1に記載の「取決め事項」参照のこと）

・連合チームの自リーグのユニフォームは認めるが、背番号を統一する事

・選手登録人数9名以上とする（ベンチ入りは20名以下）

・監督1名，コーチは予備を含めて4名以下とする

なお、選手・監督・コーチ及び、リーグ会長は規定の傷害、賠償責任保険に加入していなければならない

・いかなる場合も選手及び、監督、コーチの重複登録は認めない．

・出場チームは自チームの試合会場に2名以上のチーム審判を帯同させなければならない

12．大会規定 連盟より配布済みの『リトルリーグ基本資料2015』(名簿)に記載の大会規則に基づく。

特に注意すべき点を表記する

・昨年度より変更したルール事項(投手の投球数と休息について)

　休息日が必要となる投球数は、その投手が対峙した最終打者へ1球目の投球数が基準となる

　具体的には例えば、投手が累積投球数19球となっている段階で次打者と対峙し、

　その打者に対し8球を投じて合計投球数が27球となった場合

1. その打者が出塁する
2. その打者がアウトになる
3. 第３アウトが成立し、そのイニングが終了する

のいずれかのケースで降板すれば、その投手が最終打者と対峙した際の１球目が２０球目だ

ったため、記録上はその投手の投球数は「20球以内」とカウントされ、その投手には休息

日は必要がない、ということになる。

これは、休息日数が変わる35球、50球、65球、85球のそれぞれの上限投球数でも同様の

対応とする。

※公認規定：Ⅵ－投手（ｄ）項＝42頁

トーナメント競技規則：4．投球規定e項＝T－16頁　参照

・試合は4回以降8点差のコールド制を採用する　但し、決勝戦は12点差とする

・試合はメジャーの部、マイナーの部ともに全試合90分を超えた場合は、時間切れコールド制（時間制）とし、同点の場合は抽選により決する (90分を優先するので、6回まで行わずに終了の場合もあり、同点の場合に延長に入る場合もある)

但し決勝戦はタイブレーク制を採用する。

　その方法は次の通りとする。

１）攻撃は一死二・三塁から攻撃を開始する

　　　　 ２）打者は90分を超えて新しいイニング入った時点のオーダーの３番から

　　　　　　 　　走者は三塁が１番打者（前々位打者）、二塁が２番打者（前位打者）とする

　　　　 ３）投手は登板していた投手が投球規定に従って引き続き投げることが出来る

４）引き続き同点の場合は、前回終了時の継続打順とし、走者は前項３）と同様の方式で

　　２人置く

・試合開始時間が、16時を過ぎて新しい試合に入らない

　　(大会規定 第8条試合 第1項7)

・投手の投球数制限規定を採用する

　　(大会規定 第10条投手 第2項1)

・投手から捕手及び捕手から投手への規定についても遵守すること

　　(大会規定　第10条投手　第2項4･5)

・走者やベースコーチ等が捕手のサインを見て打者に伝える行為を禁止する。

　またネット裏または観客席から、相手チームの情報を伝える行為も禁止する。

　野卑な声援も禁止する。特に相手チームの選手に恐怖心を抱かせたり精神的に動揺させる

　ヤジは絶対に慎むこと。観客席から起こった場合も同じである。鳴り物入りの応援、メガホ

　ンの使用も禁止する。審判員がこれらの行為を発見した時は監督に厳重注意を与える。

　２度目には監督を退場させる。

・試合中に監督、コーチの体罰を発見した場合は理由の如何に問わず即、退場させる。

13．管理責任 ・参加チームは必ずリーグ会長またはその代行者(監督、コーチ以外の役員)が引率し、

　期間中の選手及び、チーム関係者(応援者を含む)の行動に関し、指導、管理責任を負う

・大会期間中に発生した傷害及び、損害事故に関して当該リーグ会長がその責任において対処

　する事．

・主催者ならびに会場提供者はその責任を負わない

なお、別紙3の大会引率責任者表を試合毎に提出すること

14．大会運営 関西連盟理事長を大会会長とし、理事全員が運営委員として大会の運営にあたる

イ）試合開始前の対戦チームの到着受付、登録書類等の確認

ロ）試合開始前のメンバー表の交換、出場選手及び監督、コーチの審査

ハ）公式スコアラーの選任

ニ）試合結果報告書の作成及び連盟事務局(報道担当)への報告

ホ）会場内外の安全に配慮し、円滑な大会運営に努める

　 へ）大会会場は、ブロック単位で提供いただき、連盟役員とブロック役員で運営すること

15．その他 ・監督は必ず出場審査前に用具の点検を実施すること

　(ユニフォーム、グラブの皮ひも、靴の釘止めＰ革も忘れずに)

・選手が9名の場合の予備捕手は三塁手が行う

・第１試合のチームのグランド内での事前アップは、８時以降に行なうこと

・「ぼくらリトルリーグの歌」を開会式で選手、保護者が大きな声で歌えるよう練習をして

　おくこと。

以　　　上